

『「臨時災害放送局の高度利用に関する調査検討」公開試験』 開催報告

○日時 令和3年3月26日（金） 13:30～15:00

○場所 公立学校法人広島市立大学 体育館
(広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号)

○主催 総務省中国総合通信局、中国情報通信懇談会
共催 公立学校法人広島市立大学

○実施内容

本公開試験では、広島市立大学の構内を地方公共団体と見たて、情報科学部棟（親局）と体育館（子局）で周波数同期をおこなう公開試験を実施しました。

- ・160MHzSTLを使用したFM同期方式
- ・改修した、総合通信局設備との同期放送
- ・緊急設置を想定し、電波測定車に機器を搭載して運用する形態
- ・体育館を避難所に見立てての避難所GF方式（同一波方式及び二周波方式）
- ・受信場所の制約を緩和できる方策として、回り込みキャンセラーの活用による効果検証
- ・D/U比や遅延を変化させて、実際に来場者が受信機で音声実聴（ステレオ方式とモノラル方式による干渉度合いの体験など）

○参加人数 63名

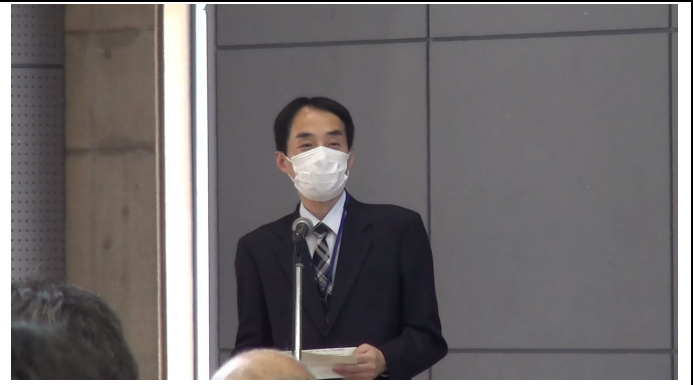
一般の方、放送事業者、通信事業者、工事施工業者等から参加があった。

『「臨時災害放送局の高度利用に関する調査検討」公開試験』 開催模様

令和3年3月26日(金)



会場模様



開会挨拶

中国総合通信局 無線通信部 斧淵 部長



調査検討会座長挨拶

広島市市立大学大学院 情報科学研究科 西 教授



公開試験模様



公開試験模様



公開試験模様



公開試験模様



公開試験模様



公開試験模様
(密を避けるため体育館のスクリーンにも投影)



公開試験模様

以上